(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2017-228237
(P2017-228237A)
(43)公開日　平成29年12月28日(2017.12.28)

(51)Int.Cl.			F I			テーマコード（参考）
G06K	7/10	(2006.01)	G06K	7/10	100	
G06K	7/00	(2006.01)	G06K	7/00	065	
			G06K	7/00	004	

審査請求 有　請求項の数 4　ＯＬ　（全 11 頁）

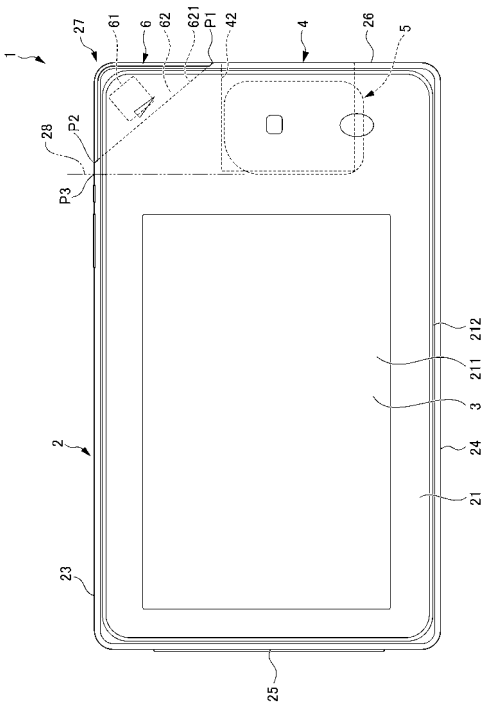
(21)出願番号　特願2016-125844 (P2016-125844)
(22)出願日　平成28年6月24日 (2016.6.24)
(11)特許番号　特許第6042017号 (P6042017)
(45)特許公報発行日　平成28年12月14日 (2016.12.14)

(71)出願人　513053052
東　佳弘
東京都目黒区東山１－４－４　目黒東山ビル６階　株式会社エンパシ内
(74)代理人　100106002
弁理士　正林　真之
(74)代理人　100120891
弁理士　林　一好
(74)代理人　100154748
弁理士　菅沼　和弘
(72)発明者　東　佳弘
東京都目黒区東山１－４－４　目黒東山ビル６Ｆ　株式会社エンパシ内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】電子機器

(57)【要約】
【課題】カードの決済機能を有するコンパクトな電子機器を提供する。
【解決手段】電子機器１は、第１の側面２６とこの第１の側面２６に隣接する第２の側面２３とこれらの側面２６，２３が交わる角隅部２７とを有する筐体２と、接触型ＩＣ読み取り部４及び／又は非接触型ＩＣ読み取り部５と、磁気読み取り部６とを備える。接触型ＩＣ読み取り部４及び／又は非接触型ＩＣ読み取り部５は、筐体２の第１の側面２６の側に配置され、磁気読み取り部６は、磁気カードの磁気記録部から磁気情報を取得する磁気センサ６１と、磁気カードの磁気記録部を磁気センサ６１が走査するために筐体２に設けられる磁気カード用挿入溝６２と、を備え、磁気カード用挿入溝６２は、角隅部２７において、第２の側面２３上の第２の位置Ｐ２から第１の側面２６上の第１の位置Ｐ１まで直線状に延びる底面６２１を有する。
【選択図】図２



【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１の側面とこの第１の側面に隣接する第２の側面とこれらの側面が交わる角隅部とを有する筐体と、
前記筐体と一体的に構成され、決済に係る接触型ＩＣカードの読み取り処理を行う接触型ＩＣ読み取り部、及び／又は、非接触型ＩＣカードの読み取り処理を行う非接触型ＩＣ読み取り部と、
前記筐体と一体的に構成され、決済に係る磁気カードの読み取り処理を行う磁気読み取り部と、を備える電子機器であって、
前記接触型ＩＣ読み取り部及び／又は非接触型ＩＣ読み取り部は、前記筐体の前記第１の側面の側に配置され、
前記磁気読み取り部は、磁気カードの磁気記録部から磁気情報を取得する磁気センサと、磁気カードの磁気記録部を前記磁気センサが走査するために前記筐体に設けられる磁気カード用挿入溝と、を備え、
前記磁気カード用挿入溝は、前記角隅部において前記第２の側面上の第２の位置から前記第１の側面上の第１の位置まで直線状に延びる底面を有する、電子機器。
【請求項２】
前記第２の側面上の前記第２の位置は、前記接触型ＩＣ読み取り部及び／又は非接触型ＩＣ読み取り部における、前記第１の側面とは反対側の部位を通り且つ前記第１の側面と平行に延びる仮想線が前記第２の側面と交差する位置よりも、前記角隅部の側に配置される、請求項１に記載の電子機器。
【請求項３】
前記接触型ＩＣ読み取り部及び前記非接触型ＩＣ読み取り部を備え、前記接触型ＩＣ読み取り部と前記非接触型ＩＣ読み取り部とは、前記筐体の前面視において少なくとも部分的に重なり合う、請求項１又は２に記載の電子機器。
【請求項４】
前記第１の側面は、前記筐体の短手方向に沿う一方の側面である、請求項１～３のいずれかに記載の電子機器。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、カードの決済機能を有する電子機器に関する。
【背景技術】
【０００２】
ＩＣカードや磁気カードからなる各種カード（クレジットカード、キャッシュカード等）を決済するための専用の決済端末が知られている（例えば、特許文献１参照）。タブレット型のカードの決済端末も知られている（例えば、特許文献２参照）。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特開２０１３－００３８１０号公報
【特許文献２】特開２０１５－０３２３２２号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
特許文献１に記載の決済端末では、ＩＣカードは、カードの平面が装置本体の厚み方向と直交する姿勢で装置内に挿入されて、読み取り動作が行われる。一方、磁気カードは、カードの平面が装置本体の厚み方向と平行な姿勢で、読み取りに必要なスワイプ操作が行われる。
【０００５】

そのため、特許文献１に記載の決済端末の場合、装置本体は、磁気カードのスワイプ操作を行うのに必要な厚みを有していなければならず、装置本体を所謂タブレット型の端末のように薄くすることはできない。

【０００６】

特許文献２に記載の決済端末では、ＩＣカードは、カードの平面が装置本体の厚み方向と直交する姿勢で装置内に挿入されて、読み取り動作が行われる。磁気カードも、同様に、カードの平面が装置本体の厚み方向と直交する姿勢で、読み取りに必要なスワイプ操作が行われる。

【０００７】

特許文献２に記載の決済端末の場合、特許文献１に記載の決済端末に比べて装置本体の厚みを薄くすることができる反面、ＩＣカード用挿入溝と磁気カード用挿入溝とが部分的に共用されるという課題がある。そのため、このような決済端末の大きさをさらにコンパクトに構成しようとすると、ＩＣカード用挿入溝との共用部分を除く磁気カード用挿入溝自体のスワイプ長さが短くなってしまう。

【０００８】

従って、本発明は、カードの決済機能を有するコンパクトな電子機器を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【０００９】

本発明は、第１の側面とこの第１の側面に隣接する第２の側面とこれらの側面が交わる角隅部とを有する筐体と、前記筐体と一体的に構成され、決済に係る接触型ＩＣカードの読み取り処理を行う接触型ＩＣ読み取り部、及び／又は、非接触型ＩＣカードの読み取り処理を行う非接触型ＩＣ読み取り部と、前記筐体と一体的に構成され、決済に係る磁気カードの読み取り処理を行う磁気読み取り部と、を備える電子機器であって、前記接触型ＩＣ読み取り部及び／又は非接触型ＩＣ読み取り部は、前記筐体の前記第１の側面の側に配置され、前記磁気読み取り部は、磁気カードの磁気記録部から磁気情報を取得する磁気センサと、磁気カードの磁気記録部を前記磁気センサが走査するために前記筐体に設けられる磁気カード用挿入溝と、を備え、前記磁気カード用挿入溝は、前記角隅部において前記第２の側面上の第２の位置から前記第１の側面上の第１の位置まで直線状に延びる底面を有する、電子機器である。

【００１０】

また、前記第２の側面上の前記第２の位置は、前記接触型ＩＣ読み取り部及び／又は非接触型ＩＣ読み取り部における、前記第１の側面とは反対側の部位を通り且つ前記第１の側面と平行に延びる仮想線が前記第２の側面と交差する位置よりも、前記角隅部の側に配置されてもよい。

【００１１】

また、前記接触型ＩＣ読み取り部及び前記非接触型ＩＣ読み取り部を備え、前記接触型ＩＣ読み取り部と前記非接触型ＩＣ読み取り部とは、前記筐体の前面視において少なくとも部分的に重なり合ってもよい。

【００１２】

また、前記第１の側面は、前記筐体の短手方向に沿う一方の側面であってもよい。

【発明の効果】

【００１３】

本発明によれば、カードの決済機能を有するコンパクトな電子機器を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【００１４】

【図１】本発明の電子機器の一実施形態としての携帯電子機器を示す斜視図である。

【図２】図１の携帯電子機器の正面図である。

【図３】図２の携帯電子機器の平面図である。

【図４】図２の携帯電子機器の右側面図である。
【図５】図２の携帯電子機器の要部を断面にして示す図である。
【図６】図２の携帯電子機器の別の要部を断面にして示す図である。
【図７】接触型ＩＣカードの決済機能を実行する様子を示す図である。
【図８】非接触型ＩＣカードの決済機能を実行する様子を示す図である。
【図９】磁気カードの決済機能を実行する様子を示す図である。
【発明を実施するための形態】
【００１５】
以下、本発明の実施形態について、図面を参照しながら説明する。図１は、本発明の電子機器の一実施形態としての携帯電子機器を示す斜視図である。図２は、図１の携帯電子機器１の正面図である。図３は、図２の携帯電子機器１の平面図である。図４は、図２の携帯電子機器１の右側面図である。図５は、図２の携帯電子機器１の要部を断面にして示す図である。図６は、図２の携帯電子機器１の別の要部を断面にして示す図である。図７は、接触型ＩＣカードの決済機能を実行する様子を示す図である。図８は、非接触型ＩＣカードの決済機能を実行する様子を示す図である。図９は、磁気カードの決済機能を実行する様子を示す図である。
【００１６】
図１～図４に示すように、この携帯電子機器１は、筐体２と、タッチパネル・表示部３と、接触型ＩＣ読み取り部４と、非接触型ＩＣ読み取り部５と、磁気読み取り部６とを備える。携帯電子機器１は、タブレット型端末として一般的な機能、例えば、通話機能、データ通信機能、インターネット接続機能、位置情報（ＧＰＳ）機能、等を備えてもよい。
【００１７】
筐体２は、携帯電子機器１の外側形状を画定するものであり、扁平な板状の略直方体形状を有する。筐体２は、前面視において略長方形を呈する横長の前面２１及び背面２２と、上方の横向き側面（上横側面、第２の側面）２３と、下方の横向き側面（下横側面）２４と、左方の縦向き側面（左縦側面）２５と、右方の縦向き側面（右縦側面、第１の側面）２６とを備える。なお、本明細書において「略長方形」とは、全体として長方形とみなせる形状を全て含み、例えば、完全な長方形、角隅部が丸みを帯びた長方形、辺の部分が少し湾曲した形状なども含む。
【００１８】
筐体２の前面２１は、略矩形の透明な表示領域２１１と、表示領域２１１の周囲を取り囲む不透明な枠状領域２１２とを備える。筐体２の前面２１は、ガラスやプラスチックのような材料で構成される。筐体２の背面２２は、例えばアルミニウム合金やマグネシウム合金のような金属材料で構成される。筐体２の横側面２３、２４、及び縦側面２５、２６は、例えばアルミニウム合金やマグネシウム合金のような金属材料で構成されるか、又は高剛性樹脂で構成される。高剛性樹脂とは、例えば、ガラス繊維、カーボン繊維、その他の強化繊維及びタルクのような添加剤を樹脂中に混入した繊維強化樹脂である。
【００１９】
タッチパネル・表示部３は、筐体２の前面２１の表示領域２１１に設けられる。タッチパネル・表示部３は、タッチパネルと表示部とを備える。タッチパネルは、接触式の入力機能を有する圧電式又は静電式のものである。
【００２０】
図５に示すように、接触型ＩＣ読み取り部４は、接触型ＩＣセンサ４１と、接触型ＩＣカード用挿入溝４２とを備える。図７に示すように、接触型ＩＣセンサ４１は、接触型ＩＣカードＣ１のＩＣチップに接触して、ＩＣチップから電子情報を取得する。接触型ＩＣカード用挿入溝４２は、接触型ＩＣカードＣ１のＩＣチップを接触型ＩＣセンサ４１の位置に誘導するために筐体２内に設けられる。
【００２１】
接触型ＩＣカード用挿入溝４２は、筐体２の右縦側面２６に開口した凹溝である。接触型ＩＣセンサ４１の配置並びに接触型ＩＣカード用挿入溝４２の配置及び深さは、接触型

ＩＣカードＣ１を停止する位置まで接触型ＩＣカード用挿入溝４２に挿入したとき、接触型ＩＣカードＣ１のＩＣチップが接触型ＩＣセンサ４１の所定の接触位置に静止するように設定されている。

【００２２】

図２、図４に示すように、接触型ＩＣカード用挿入溝４２は、筐体２の右縦側面２６の上下方向の中央部分よりもやや下方に配置される。また、筐体２の右縦側面２６の左右方向（筐体２の厚み方向）に関しては、接触型ＩＣカード用挿入溝４２は、筐体２の背面２２に近い側に配置される。

【００２３】

すなわち、接触型ＩＣ読み取り部４は、筐体２の右縦側面２６に隣接して、上下方向の中央部分よりもやや下方において、筐体２の厚み方向に関して背面２２に近い側に配置される。

【００２４】

図６に示すように、非接触型ＩＣ読み取り部５は、アンテナを有する非接触型ＩＣセンサ５１を備える。非接触型ＩＣカードＣ２は、ＩＣチップとアンテナとを備える。図８に示すように、非接触型ＩＣセンサ５１のアンテナと非接触型ＩＣカードＣ２のアンテナとが接近して両者間でデータを送受信することにより、非接触型ＩＣ読み取り部５は、非接触型ＩＣカードＣ２のＩＣチップから電子情報を取得する。非接触型ＩＣカードＣ２の例としては、ＮＦＣ（Ｎｅａｒ　Ｆｉｅｌｄ　Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ）規格のカードが挙げられる。

【００２５】

図２、図４に示すように、非接触型ＩＣ読み取り部５は、筐体２の右縦側面２６に隣接して、上下方向の中央部分よりもやや下方において、筐体２の厚み方向に関して前面２１に近い側に配置される。そのため、非接触型ＩＣカードＣ２を筐体２の前面２１において非接触型ＩＣ読み取り部５に近接させることにより、非接触型ＩＣカードＣ２のＩＣチップの電子情報は、非接触型ＩＣセンサ５１により取得される。

【００２６】

すなわち、筐体２の厚み方向に関して前面２１に近い側に配置される非接触型ＩＣ読み取り部５と、筐体２の厚み方向に関して背面２２に近い側に配置される接触型ＩＣ読み取り部４とは、筐体２の前面視において大部分（例えば７０％以上）が重なり合うように配置される。そのため、接触型ＩＣ読み取り部４及び非接触型ＩＣ読み取り部５が配置される領域には、磁気読み取り部６を配置する余裕スペースが無い。

【００２７】

図６に示すように、磁気読み取り部６は、磁気センサ６１と、磁気カード用挿入溝６２とを備える。磁気センサ６１は、磁気ヘッドとも呼ばれるもので、図９に示すように、磁気カードＣ３の磁気記録部Ｃ３１から磁気情報を取得する。磁気カード用挿入溝６２は、磁気カードＣ３の磁気記録部Ｃ３１を磁気センサ６１が走査するために筐体２に設けられる。

【００２８】

図２に示すように、磁気読み取り部６は、接触型ＩＣ読み取り部４及び非接触型ＩＣ読み取り部５と同様に、筐体２の右縦側面２６に隣接して配置される。ただし、接触型ＩＣ読み取り部４及び非接触型ＩＣ読み取り部５が筐体２の前面視において重なり合って配置されている領域には配置する余裕スペースが無いので、その領域よりも上にある上方領域と下にある下方領域とを比較して、高さがより大きい上方領域に、磁気読み取り部６は、配置される。

【００２９】

磁気カード用挿入溝６２は、筐体２の右縦側面２６と上横側面２３とが交わる角隅部２７において、上横側面２３上の所定の第２の位置Ｐ２から、接触型ＩＣ読み取り部４及び非接触型ＩＣ読み取り部５に近接する右縦側面２６上の所定の第１の位置Ｐ１まで直線状に延びる底面６２１を有する。すなわち、磁気カード用挿入溝６２は、底面６２１を斜辺

とする略三角形状の凹溝であり、残りの２辺は上横側面２３及び右縦側面２６に開口している。なお、筐体２の前面視において接触型ＩＣ読み取り部４及び非接触型ＩＣ読み取り部５から第１の位置Ｐ１までの距離は、例えば、１０ｍｍ以内である。

【００３０】

図３、図４に示すように、筐体２の厚み方向に関しては、磁気カード用挿入溝６２は、筐体２の前面２１に近い側に配置される。そのため、磁気カード用挿入溝６２の底面６２１の右縦側面２６上の第１の位置Ｐ１は、接触型ＩＣ読み取り部４に近接する位置ではなく、非接触型ＩＣ読み取り部５に近接する位置である。

【００３１】

磁気カード用挿入溝６２の底面６２１の上横側面２３上の第２の位置Ｐ２は、接触型ＩＣ読み取り部４及び非接触型ＩＣ読み取り部５の右縦側面２６とは反対側の部位を通り且つ右縦側面２６と平行に延びる仮想線２８が上横側面２３と交差する位置Ｐ３よりも、角隅部２７の側に配置される。この場合には、仮想線２８が通る部位は、非接触型ＩＣ読み取り部５の右縦側面２６から最も離間した部位である。

【００３２】

次に、上記のように構成された携帯電子機器１の作用について、順に説明する。

図７に示すように、接触型ＩＣカードＣ１を手に持って接触型ＩＣ読み取り部４の接触型ＩＣカード用挿入溝４２に停止位置まで挿入すると、接触型ＩＣカードＣ１のＩＣチップが接触型ＩＣセンサ４１の所定の接触位置に静止する。そのため、接触型ＩＣセンサ４１は、接触型ＩＣカードＣ１のＩＣチップから電子情報を取得する。これにより、携帯電子機器１は、接触型ＩＣカードＣ１の決済機能を実行する。

【００３３】

図８に示すように、非接触型ＩＣカードＣ２を手に持って筐体２の前面２１において非接触型ＩＣ読み取り部５の非接触型ＩＣセンサ５１に接近させると、非接触型ＩＣ読み取り部５は、非接触型ＩＣカードＣ２のＩＣチップから電子情報を取得する。これにより、携帯電子機器１は、非接触型ＩＣカードＣ２の決済機能を実行する。

【００３４】

図９に示すように、磁気カードＣ３を手に持って磁気読み取り部６の磁気カード用挿入溝６２に上横側面２３側から挿入して、底面６２１に沿って右縦側面２６側まで通過させると、磁気センサ６１は、磁気カードＣ３の磁気記録部Ｃ３１から磁気情報を取得する。これにより、携帯電子機器１は、磁気カードＣ３の決済機能を実行する。

【００３５】

実施形態の携帯電子機器１によれば、例えば以下の効果が奏される。

実施形態の携帯電子機器１は、筐体２と、接触型ＩＣ読み取り部４と、非接触型ＩＣ読み取り部５と、磁気読み取り部６とを備える。そのため、接触型ＩＣカードＣ１、非接触型ＩＣカードＣ２、磁気カードＣ３の全ての決済機能を１台の携帯電子機器１で実行することができる。

【００３６】

接触型ＩＣ読み取り部４、非接触型ＩＣ読み取り部５、及び磁気読み取り部６は、全て筐体２の右縦側面２６に隣接して配置される。

そのため、例えば、接触型ＩＣ読み取り部４、非接触型ＩＣ読み取り部５、及び磁気読み取り部６が筐体２の各所にバラバラに配置される場合に比べて、接触型ＩＣ読み取り部４、非接触型ＩＣ読み取り部５、及び磁気読み取り部６の配置領域を全体としてコンパクトに纏めることができ、その結果、携帯電子機器１をよりコンパクトに構成することができる。

【００３７】

限られた領域に磁気読み取り部６を配置するため、磁気カード用挿入溝６２は、筐体２の右縦側面２６と上横側面２３とが交わる角隅部２７において、上横側面２３上の所定の第２の位置Ｐ２から右縦側面２６上の所定の第１の位置Ｐ１まで直線状に延びる底面６２１を有する。すなわち、磁気カード用挿入溝６２は、底面６２１を斜辺とする略三角形状

の凹溝であり、残りの２辺は上横側面２３及び右縦側面２６に開口している。
そのため、第１の側面である右縦側面２６に沿う方向の磁気読み取り部６と接触型ＩＣ読み取り部４及び非接触型ＩＣ読み取り部５との配置領域を小さくすることができ、カードの決済機能を有するコンパクトな電子機器を実現することができる。また、磁気カード用挿入溝６２が筐体２の右縦側面２６に平行な底面を有する場合に比べて、底面６２１の長さをより長く確保することができ、磁気カードＣ３の読み取り精度をそれだけ向上させることができる。

【００３８】
磁気カード用挿入溝６２の底面６２１の上横側面２３上の第２の位置Ｐ２は、接触型ＩＣ読み取り部４及び非接触型ＩＣ読み取り部５の右縦側面２６とは反対側の部位を通って右縦側面２６と平行に延びる仮想線２８が上横側面２３と交差する位置Ｐ３よりも、角隅部２７の側に配置される。すなわち、磁気カード用挿入溝６２の底面６２１は、仮想線２８よりも右縦側面２６の側の領域に収まる。
そのため、接触型ＩＣ読み取り部４、非接触型ＩＣ読み取り部５、及び磁気読み取り部６の配置領域全体のコンパクト化に寄与することができる。

【００３９】
筐体２の右縦側面２６に隣接して、筐体２の厚み方向に関して背面２２に近い側に接触型ＩＣ読み取り部４が配置され、前面２１に近い側に非接触型ＩＣ読み取り部５が配置され、しかも、接触型ＩＣ読み取り部４と非接触型ＩＣ読み取り部５とは、筐体２の前面視において大部分が重なり合うように配置される。
そのため、接触型ＩＣ読み取り部４及び非接触型ＩＣ読み取り部５の前面視の配置領域を大幅にコンパクトに纏めることができて、携帯電子機器１をよりコンパクトに構成することができる。

【００４０】
接触型ＩＣ読み取り部４及び非接触型ＩＣ読み取り部５の配置領域にさらに、磁気読み取り部６を筐体２の前面視において重なり合うように配置することは、携帯電子機器１の薄さを増大させることに繋がるので、避けなければならない。そこで、実施形態においては、筐体２の右縦側面２６に隣接して、接触型ＩＣ読み取り部４及び非接触型ＩＣ読み取り部５の配置領域よりも上にある上方領域と下にある下方領域とを比較して、高さがより大きい上方領域に、磁気読み取り部６は配置される。
そのため、接触型ＩＣ読み取り部４、非接触型ＩＣ読み取り部５、及び磁気読み取り部６の配置領域全体のコンパクト化に寄与することができる。

【００４１】
以上、本発明の好適な実施形態について説明したが、本発明は、前述した実施形態に限定されることなく、種々の形態で実施することができる。
例えば、実施形態では、接触型ＩＣ読み取り部４と非接触型ＩＣ読み取り部５とを、筐体２の前面視において大部分が重なり合うように配置したが、本発明はこれに制限されない。例えば、接触型ＩＣ読み取り部４と非接触型ＩＣ読み取り部５とを、筐体２の前面視において重ならないように配置してもよい。

【００４２】
また、携帯電子機器１の厚みを極限まで薄くするなど、必要に応じて、接触型ＩＣ読み取り部４又は非接触型ＩＣ読み取り部５のいずれか一方を省略して、接触型ＩＣ読み取り部４及び磁気読み取り部６のみを備えた携帯電子機器１、又は、非接触型ＩＣ読み取り部５及び磁気読み取り部６のみを備えた携帯電子機器１を構成してもよい。
接触型ＩＣ読み取り部４と非接触型ＩＣ読み取り部５は、筐体２の長手方向に沿う側面の側に配置されていてもよい。タッチパネル及び／又は表示部は設けられていなくてもよい。

【００４３】
実施形態の筐体２は、前面視において略長方形で板状であるが、この形状に制限されず、その他の前面視形状や厚み方向形状であってもよい。

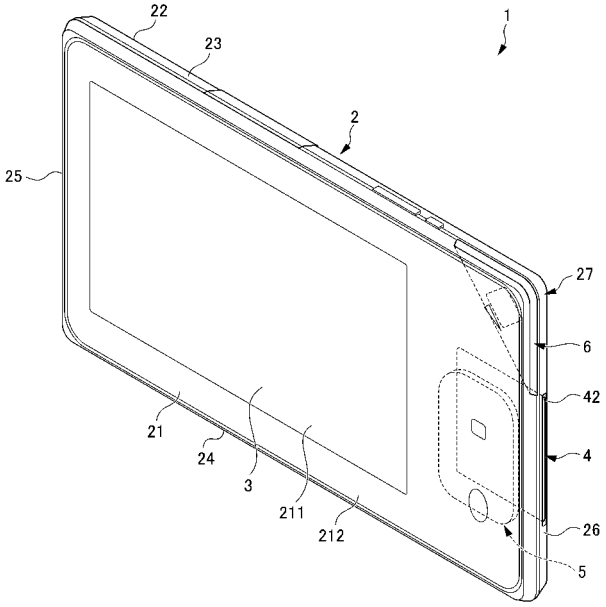
実施形態は携帯電子機器であるが、本発明はこれに制限されない。例えば、電源コードを備えてそのコードの延びる範囲でどこにでも置けるように構成された小型の載置式の決済電子機器などに本発明を適用してもよい。つまり、本発明は、携帯型ではない電子機器であってもよい。

【符号の説明】

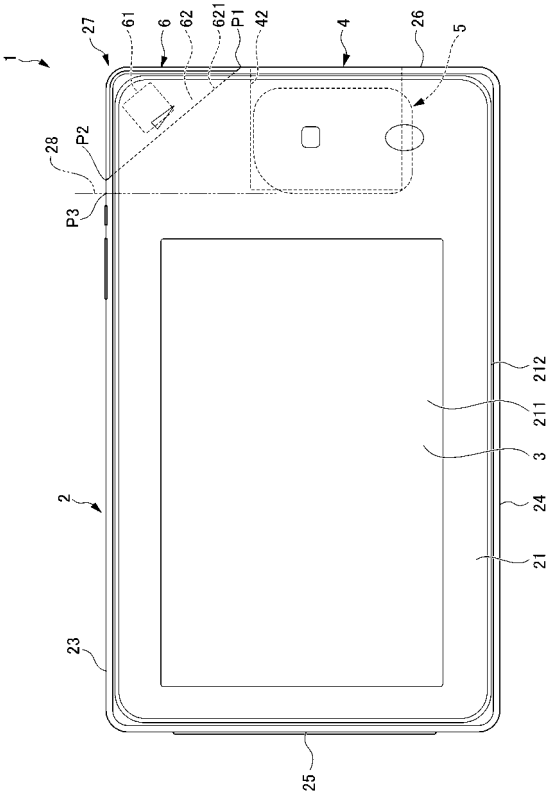
【００４４】

１　携帯電子機器（電子機器）
２　筐体
３　タッチパネル・表示部
４　接触型ＩＣ読み取り部
５　非接触型ＩＣ読み取り部
６　磁気読み取り部
２１　前面
２３　上横側面（第２の側面）
２６　右縦側面（第１の側面）
２７　角隅部
２８　仮想線
６１　磁気センサ
６２　磁気カード用挿入溝
６２１　底面
Ｃ１　接触型ＩＣカード
Ｃ２　非接触型ＩＣカード
Ｃ３　磁気カード
Ｃ３１　磁気記録部
Ｐ１　第１の位置
Ｐ２　第２の位置
Ｐ３　交差する位置

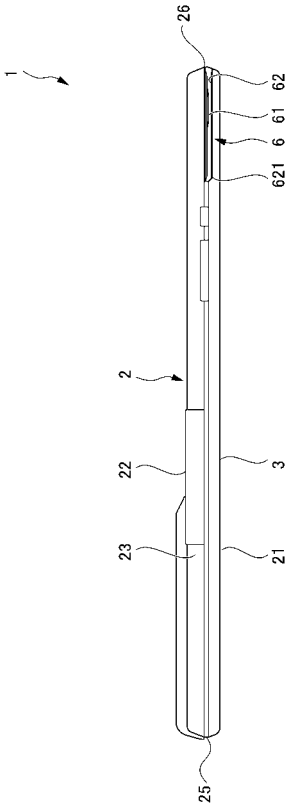
【図１】


1
22
23
2
25
27
6
42
4
26
5
21
24
3
211
212

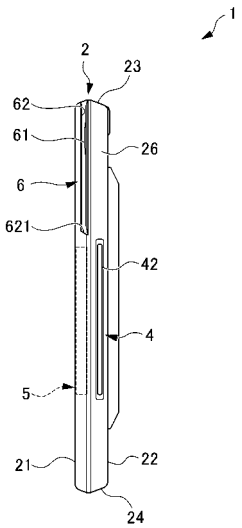
【図２】


1
27
61
6
62
621
P1
42
4
26
5
28
P2
P3
212
211
3
24
21
2
23
25

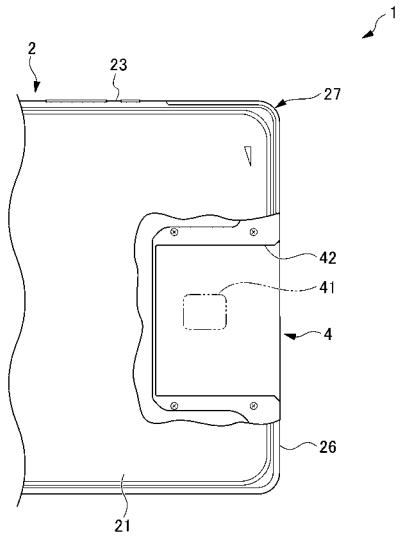
【図３】


1
26
62
61
6
621
2
22
3
23
21
25

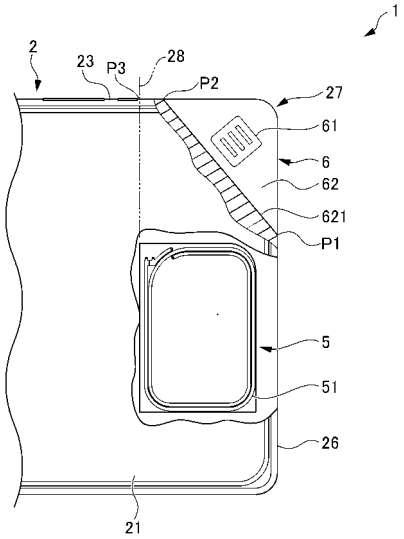
【図４】


1
2
23
62
61
26
6
621
42
4
5
21
22
24

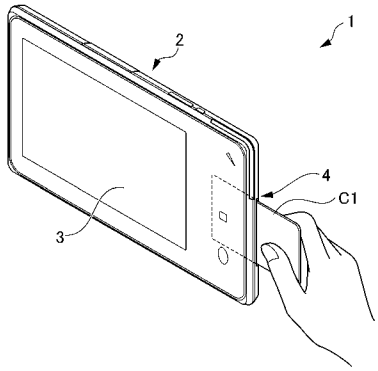
【図５】


1
2
23
27
42
41
4
26
21

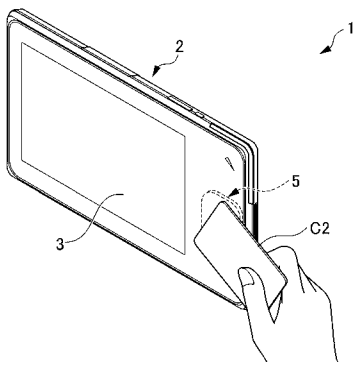
【図６】


1
2
23
P3
28
P2
27
61
6
62
621
P1
5
51
26
21

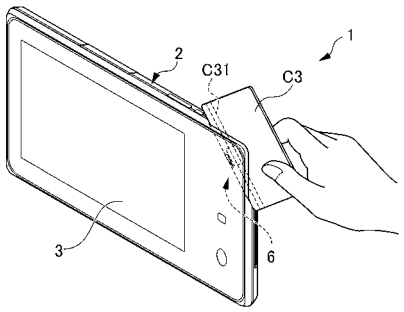
【図７】


1
2
4
C1
3

【図８】


1
2
5
C2
3

【図９】


1
2
C31
C3
3
6

フロントページの続き

特許法第３０条第２項適用申請有り　〔博覧会名〕　リテールズビッグショウ２０１６（Ｒｅｔａｉｌ’ｓ　Ｂｉｇ　Ｓｈｏｗ　２０１６）　〔開催日〕　平成２８年1月１５日～平成２８年1月１９日　〔刊行物等〕　〔掲載年月日〕　平成２８年3月3日　〔掲載アドレス〕　ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｅｍｐａｔｈｙ．ｃｏ．ｊｐ／ｐｒｏｄｕｃｔ／ｐ＿ｅｍ０８．ｐｈｐ　〔刊行物等〕　〔掲載年月日〕　平成２８年3月3日　〔掲載アドレス〕　ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｅｍｐａｔｈｙ．ｃｏ．ｊｐ／ｅｎｇ／ｐｒｏｄｕｃｔ／ｐ＿ｅｍ０８．ｐｈｐ　〔刊行物等〕　〔掲載年月日〕　平成２８年1月１８日及び同年1月２１日　〔掲載アドレス〕　ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｆａｃｅｂｏｏｋ．ｃｏｍ／ｅｍｐａｔｈｙｊｐ